

新たに閣僚・通材通所?

盛山文部相 教団と接点

岸田文雄首相が13日に実施した内閣改選では、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との接点を認めた議員が4人入り、萩生田光一氏は元教団幹事長の要職を務める。バビロンの建設が遅れる方担当大臣は、再び交代。議者は「造材通所、国民団線の人事とは言えない」と指摘する。▼一面参照

元信者「決別の意志示して」

改造内閣では、朝日新聞

が昨年実施したアンケートや自民党的な点検で、旧統一教会との接点を認められた議員が4人入り閣に入った。いずれも初入閣の鈴木淳司総務相▽盛山正仁文部科学相▽伊藤信太郎環境相▽木原稔防衛相。

教団側のイベントに会費を支出していたのが鈴木氏と伊藤氏で、鈴木氏は祝電も送っていた。盛山氏と木原氏は、教団関連団体の会合に出席してい



文部科学相に内定し、首相官邸に入る盛山正仁氏
=13日午後、内田光撮影

た。

盛山氏は宗教法人を所管する文部省のトップとして、教団への解散命令を認めていた。秋生田氏は、この日の事務所は

請求を複数に入れた手続きを担うことになる。この日、盛山氏の事務所は

取材に「昨年3月に閣連

固体の行事に一度出席しただけで教団と関係はない。仕事の判断に影響はない」と回答した。

首相官邸は閣僚候補について教団側と接点がないかどうか事前に調査したが、「わざわざペルの話をどうぞ来て貰うと受けた。田代のやるしかなかった」（政府高官）といつた。（政府高官）といふ。官邸幹部は「大事なのは今は関係が切れてい

は、教団との接点を認めた秋生田氏が、これまで萩生田氏の選舉で電話かけなしの支援をしてきたという現役議員は「我々が助けてきた萩生田氏が要職にいる国民党政権に（教団を）解散」

「（教団）が度するよに」と話した。

教団の元2世相者の女性は「（教団側の）接点がある議員が多い」という印象。正面、驚いた。

盛山氏の文部相就任が解散命令請求に影響しないか心配しているとい

を書くのも、国益に反するものではないか。国民の国益で、政策と接遇した適材を適所に配置するといふことはなく、来年の総選に向か、首相が自らの権力基盤を固めたいという外的な日本のプレゼンス（存在感）

計画が透けて見える。

首相の権力固め透ける計算

南野森・九州大教授（憲法學）の話

なぜ毎年内閣改選をするのか。

岸田政権が発足して2年足らずで大幅な改選を2回しているが、閣僚には勉強が必要だ。政策の継続性や対

うな政治にはしてほしくないが、閣僚の問題、宗教2世の問題などかり向かい合つてしまつて、元2世相者の3代男性

は「昨年、自民党は教団

の起用について疑問視し

た」と語る。特に盛山氏

の起用について疑問視し

た。

「（教団）が度するような政治にはしてほしくないが、閣僚の問題、宗教2世の問題などかり向かい合つてしまつて、元2世相者の3代男性は「昨年、自民党は教団の起用について疑問視した」と語る。特に盛山氏の起用について疑問視したにもかかわらず、何